



伝統と今を大切にする

堅川中だより

第5号

令和8年9月1日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 山崎 二郎



「あたりまえ」のことへの感謝

校長 山崎 二郎

今年の夏も、うだるような暑さが続き、心身ともに疲れを感じる日々だったのではないのでしょうか。また、各地でゲリラ豪雨や線状降水帯による大雨、台風、地震などの自然災害に関する報道が相次ぎました。このたびの熊本地震ならびに各地において豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

熊本では10年前にも大きな地震が発生しており、その復旧・復興がようやく進みつつあった矢先の再びの災害に、大変心を痛めています。同時に、災害は私たちの都合とは関係なく、いつ、どこで起こるか分からないものであることを改めて実感させられました。熊本地震発生後も、現地の甚大な被害の状況が連日報道されています。いつでも食事ができること、水道の蛇口をひねれば水が出ること、温かいお風呂に入れることなど、私たちにとっての日常の「あたりまえ」が、被災された方々にとっては「あたりまえ」ではなくなっています。

そのような厳しい状況の中でも、多くの方々が復旧・復興に尽力され、避難所では温かい食事や入浴の機会が少しずつ提供されるようになっていくことも報道されています。ほんのわずかでも日常の「あたりまえ」を取り戻し、笑顔でインタビューに応える被災者の姿がとても印象に残りました。被災地の皆様が一日も早く平穏な日常を取り戻されることを心より願っています。



考えてみると、私たちの生活は多くの「あたりまえ」の上に成り立っています。私自身、高校生のときにけがで手術を受け、約1か月間入院した経験があります。手術後の数日間は痛みのため歩くことや自分で寝返りを打つことさえできず、強いもどかしさを感じました。その経験はとても辛いものでしたが、同時に日頃「あたりまえ」と思っていることのありがたさや感謝の気持ちをもつことの大切さに気付くことができました。

私たちは、「あたりまえ」だと思っていたことが失われたり、できなくなったりしたときに初めて、その価値の大きさやありがたさに気付くことが多くあります。今回の災害を通して改めて気付かされた日常の「あたりまえ」への感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

45日間の長い夏休みが終わり、静まり返っていた学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。久しぶりに子供たちと再会できたことを大変うれしく感じています。夏休み期間中に大きな事故やケガの報告もなく、夏休み明けからも無事に教育活動のスタートを切ることができましたのも保護者や地域の皆様が温かく見守ってくださったお陰です。心より感謝申し上げます。9月からも、保護者・地域の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

～ 9 月の予定～

1	火	夏季休業日後指導 避難訓練
2	水	地理コンテスト 定例・代表委員会
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	生徒朝礼
8	火	修学旅行始(3)
9	水	修学旅行(3) 定期考査 1 週間前 諸活動停止期間始
10	木	すみだいじめ防止の日 修学旅行終(3)
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	定期考査①
17	木	定期考査②
18	金	定期考査③ 安全指導 諸活動停止期間終 中学校体験入学
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	職員会議
25	金	幼保小中一貫教育第 2 回協議会 NO 残業 DAY
26	土	
27	日	
28	月	生徒会役員選挙
29	火	
30	水	定例・代表委員会

※ () 内の数字は学年や 5 組をあらわしています。 例 (5) : 5 組

豎中生の活躍紹介 (夏休みまで編)

◎美術部 第 63 回関東地区中学生海の絵画コンクール

金賞 小早川 真央

銀賞 伊藤 綾那 渡邊 りな

銅賞 安齋 早紀 清水 穂佳 小原 あずさ

毒嶋 らん 鄭 唯依

特別賞 (帆船日本丸賞) 北村 花菜

佳作 齋藤 美緒 福井 茜梨 松下 実央 柳川 円

岡田 季 北原 瑞穂 西垣 なな 茂木 澪里

(金賞 小早川 真央)



◎男子ソフトテニス部 墨田区中学校総合体育大会ソフトテニス夏季大会

個人戦 優勝 阿部 航、三橋 凧紗

団体戦 準優勝 阿部 航、三橋 凧紗、白石 偉斗、大道 智貴
林 駿太、棟方 琉斗、木所 凜空、大面 崇太

都大会出場

◎女子ソフトテニス部 墨田区中学校総合体育大会ソフトテニス夏季大会
 個人戦 第3位 中野美空 松浦歩来
 団体戦 準優勝 大下 空美、中野 美空、片桐 由菜、松浦 歩来
 橋本 玲奈、大川 蓮未 } 都大会出場

◎男子バドミントン部 墨田区中学校総合体育大会バドミントン夏季大会
 個人戦 第3位 田村 海翔、坂元 圭飛
 団体戦 第3位 加藤 陽人、渡部 時生、磯部 和史、上埜 恵太、坂元 圭飛
 小泉 喜禎、花川 寛暁、田村 海翔

墨田区中学校バドミントンシード権大会
 団体戦 第3位 市原 新大、内田 蓮、小野尾 隼、木村 美太、中山 魁偉
 渡邊 陸斗

◎女子バドミントン部 墨田区中学校総合体育大会バドミントン夏季大会
 団体戦 第3位 森實 柚月、工藤 心結、鶴田 愛結羽、高井 彩羽、上大谷 佐帆
 小代 苺依、秋山 美羽、鈴木 心絆

墨田区中学校バドミントンシード権大会
 団体戦 第3位 今井 華音、小磯 千寛、石塚 美有、溝江 珠実、山原 陽花
 横山 優月

【1 学年】

10月22日・23日に野外体験活動が行われます。1年生にとって、中学校で初めての宿泊行事です。事前学習が始まり、訪問する施設や地域について、各生徒が調べてスライドにまとめています。これからプレゼンテーションも行われます。学びの多い行事になりそうです。各クラスの実行委員が決まり、実行委員会での積極的な話し合いや準備が始まっています。

野外体験活動実行委員のほかにも、豎中フェスティバル実行委員、文化祭実行委員など、さまざまな役割に積極的に立候補する生徒たちの姿が見られ、頼もしく感じています。

【2 学年】

1日より授業が再開し、学校に生徒たちの元気な声と活気が戻ってまいりました。少し日焼けをしたり、背が伸びたりと、夏休みを経て一段とたくましくなった生徒たちの姿を見ることができ、学年教員一同、大変嬉しく思います。運動部では、夏休みから2年生を中心とした新たなチームが始動しました。部活動だけでなく、これから学校生活のさまざまな場面においても、中心的な役割を担う存在として成長していくことを期待しています。夏休み中、大きな事故等の報告もなく、保護者の皆様におかれましては、温かく子どもたちを見守ってくださり、誠にありがとうございました。引き続き、本学年の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

左から、ビブリオバトルに向けた選書の様子（総合的な学習の時間）、三者面談の様子、夏季休業後指導における表彰の様子（男子バドミントン部）。

【3 学年】

夏休みが終わり、元気な声が学校に戻ってきました。夏季休業中の学習教室では、どの教科も 20 名以上の生徒が参加して復習課題に取り組みました。また、三者面談では担任の先生と進路について熱心に話し合う様子がみられました。生徒たちの夏休みの記録を見ると、思う存分学習を進めることができた生徒、気になる高校の見学や体験に参加して気持ちを引き締めた生徒、友達とたくさん出かけたり、家族で親戚の家や旅行へ出かけて思い出をたくさん作った生徒など、それぞれが「中学校生活最後」の夏休みを満喫したようでした。9 月以降も行事が盛りだくさんですが、まずは修学旅行に安全第一で行ってまいります。



左の写真は修学旅行のしおりが完成して撮影。しっかりと読み込んで準備します。右の写真は恒例の七夕飾り。皆の願い事を学年フロアに飾りました。

【5 組】

長い夏休みが終わり、9 月の学校生活がスタートしました。教室には笑顔や活気があふれ、友達との再会や学習活動の再開を心待ちにしていた様子が見られます。

5 組は 9・10・11 月に行事がたくさんあります。「修学旅行」、「区合同社会科見学」、「都陸上競技大会」、「野外体験活動」、「文化祭」、「都内めぐり」、「縦中フェスティバル」と続き、それぞれの事前学習、本番や事後学習など取り組むことが多くあります。日常の授業に加えて、行事を通しての学習や経験は、新たな成長につながります。一日一日を大切に過ごし今後も一人一人が大きく成長していくことを期待しています。

【食育】

夏休み中、熊本県で大きな地震が発生しました。関東でも最大震度 5 弱の地震が観測されました。首都直下地震についても、将来的に発生する可能性が高いと指摘されています。

災害時には、家そのものに大きな被害がなくても、電気・ガス・水道などのライフラインがしばらく停止することが考えられます。そのため、缶詰やレトルト食品などの備蓄を準備しておくことが大切です。

一方で、実際に被災した際には、まず傷みやすい食品から順に消費していくことが勧められています。冷蔵庫や冷凍庫の食品は、停電後もしばらくは保冷されますので、まずは常温で保管している作り置き料理やバナナなどの果物を優先して食べます。その後、冷蔵庫内の肉や乳製品など、冷凍食品、常温保存している野菜類へと順に消費し、最後に缶詰や乾物などの備蓄食品を活用するとよいとされています。

また、傷んでいる可能性のある食品を無理に食べないことも大切です。災害時に体調を崩してしまうと、普段以上に医療機関の受診が難しくなることがあります。食事の安全にも十分注意しながら、自宅での備えについてご家庭でも話し合ってみてください。